

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会～

構成メンバー(25者)

県みどり自然課 県森づくり課 入間市 飯能市 吉見町 飯能信用金庫

(NPO法人)埼玉ハンノウ大学 (NPO法人)埼玉環境カウンセラー協会

株式会社自然教育研究センター 獨協大学 埼玉大学 (公益財団法人)埼玉県生態系保護協会

秩父広域森林組合 株式会社ノヴァ 武蔵野銀行 望月印刷株式会社 株式会社住田工務店

埼玉りそな銀行 株式会社Akinai (一般財団法人)埼玉しあわせ未来基金 森のフィールド学舎

株式会社アイコム 小鹿野町特定地域づくり事業協同組合

古郡ホーム株式会社 株式会社マツザキ

検討部会における活動実績について

令和6年8月1日

「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー

～生物多様性・ネイチャーポジティブが企業価値を変える～

参加者61人
環境団体、造園業、建設業、製造業、通信業、都市コンサルタント、金融機関、官公庁など業種を問わず参加

令和6年10月8日

緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会

緑の保全・活用に興味がある、候補地検討中の企業・団体の皆さんはぜひ！
候補緑地をもつ埼玉県内の7市町が参加、気軽に交流できます

さいたま市、所沢市、戸田市、入間市、新座市、白岡市、吉見町

(株)アイコム、飯能信用金庫、(株)武蔵野銀行、埼玉県生態系保護協会ほか6団体

令和6年12月17日

緑の保全・活用を考える「市町&企業」意見交換会in入間市

～「加治丘陵」で一緒に緑の保全・活用に取り組みませんか～

入間市

(株)アイコム、埼玉ハンノウ大学、トラスト地ボラティアスタッフほか



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<2>



「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー

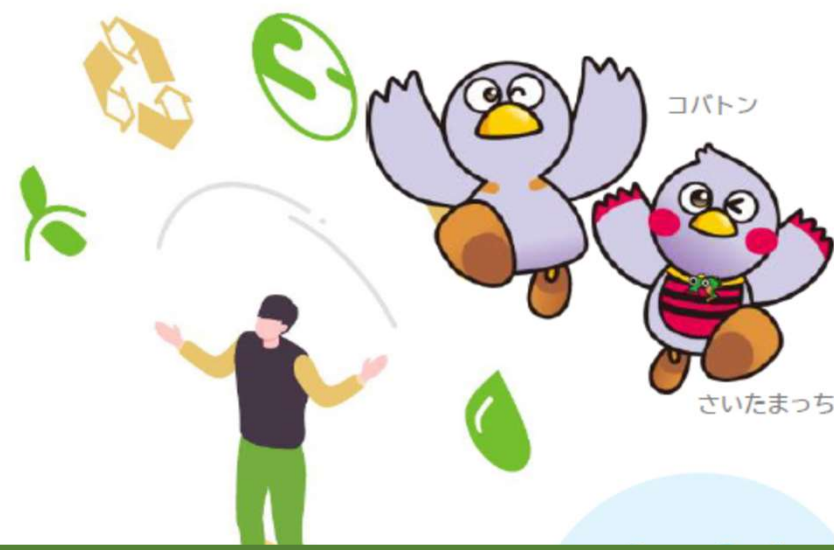
(令和6年8月1日 埼玉会館)

最新動向を知り、事業機会に活かしませんか？

生物多様性・ネイチャーポジティブが 企業価値を変える

こんな方におすすめ！

- ✓ 環境経営に関心がある！
- ✓ 生物多様性と企業の取組との関連性を知りたい！
- ✓ 環境保全活動等で企業価値を向上させたい！



「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー

- ・ 基調講演

ネイチャーポジティブに対する国の取組・企業への期待

【講師】 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性主流化室

- ・ 講演

ネイチャーポジティブが生み出す事業機会

【講師】 住友林業緑化株式会社 環境緑化事業部みどり価値推進部

- ・ 埼玉県内の官民連携・共創による緑の保全・活用事例紹介

公民連携による緑化滞在空間の創出

【事例紹介】 さいたま市都市局みどり公園推進部みどり推進課

企業ができる所沢市ネイチャーポジティブへの貢献

【事例紹介】 株式会社NTTドコモ埼玉支店長

- ・ 官民連携・共創による緑の保全・活用

【説明】 埼玉県環境部みどり自然課



セミナー終了後は
講師、参加者の交流の場

緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会

(令和6年10月8日 埼玉教育会館)

【さいたま市、所沢市、戸田市、入間市、新座市、白岡市、吉見町】



【例：入間市 加治丘陵】

各緑地の紹介

主な各市町の緑地の課題

- ・ナラ枯れ被害を受け、多くの木を伐採した。
- ・植樹をしたい。
- ・伐採後の玉切りをした木材を有効活用したい。

【企業・団体】

10者参加

主な意見、感想

- ・現地で伐採した木材を利用して、木道を整備するなどの取組ができるのでは。
- ・誘客を狙うのであれば駐車場が必要。駐車場づくりに協力したい。
- ・市町の方々からリアルの地域課題や悩みごとが聞けた。社内検討したい。
- ・今後も意見交換や緑地の視察を希望したい。

緑の保全・活用を考える「市町 & 企業」意見交換会in入間市

(令和6年12月17日 入間市農村環境改善センター・加治丘陵)

加治丘陵の概要

位置：首都圏の北西約40km圏、埼玉県南端の中央

人口：144,732人（令和6年1月1日現在）

面積：44.69 km²（東西9.3km、南北9.8km）

加治丘陵：市域の北西部に位置する約460haの丘陵



里山、まちのシンボル、原風景 ⇒ 保全・活用

- 加治丘陵さとやま計画 H10.3～
計画区域424ha 5つの区域に分け保全・活用の推進
- (仮称) 加治丘陵さとやま自然公園見直し計画 H20.7～
110.2haを都市公園として整備予定

加治丘陵の抱える課題

課題① 行政の財政事情

⇒ 財政事情により公有地化、活用、維持管理の見直しが必要

課題② 山林管理の担い手不足

⇒ 活動団体が高齢化、活動資金不足等で減少傾向

課題③ 未活用資源の増加

⇒ 山林更新や維持管理の滞り、伐採木の残置等、里山が循環的に活用されていない

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<6>

緑の保全・活用を考える「市町 & 企業」意見交換会in入間市

(令和6年12月17日 入間市農村環境改善センター・加治丘陵)

企業からの主な意見

- 活動を通して地域貢献、環境保全活動に取り組むきっかけとしたい。
- 間伐材やナラ枯れ材を活用する取り組み、未活用地に遊び場整備など集客や知名度アップに有効活用ができないか？
- 長期的に取り組める＝収益化が一定見込める活動が望ましい。



今後の事業化への展望

例) ナラ枯れ材を薪やチップに加工し活用

- 丘陵内からの持ち出し、加工コストが課題
- 市有地の木材を引渡するための制度整備が必要



里山の保全・活用のバランスをとりながら、
企業、地元団体、学校等と横断的な活動協力を検討



交流会、意見交換会に参加して

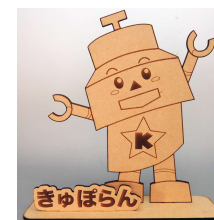


2025年1月18日～19日 埼玉県SDGsフェア
間伐材を利用したミニジオラマ作成

(株) アイコム (さいたま市岩槻区)
クラフト製品等の 企画 開発・製造 販売等



- 竹林整備・粉砕の有効活用
- 中低木樹の伐採・ナラ枯れ伐採後の玉切り
- 木材を使用したグッズ製作
マスコットキャラクター等を用いたイベント用グッズの提供



など



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<8>



SDGs 未来都市
埼玉県